

# 令和6年度 英語教育の具体的取組

## 1 旭の英語教育の特色

ネイティブスピーカーに触れる機会や積極的に英語でコミュニケーションを図る学習を通して、思いや考えを交わし合う経験を重ね、英語を使ってふるさと旭の魅力や発展、自分のことを表現する意欲と能力を高める。（旭保育園・旭学園英語教育全体計画より）

## 2 指導体制

- (1) 指導教員 1・2年…2人体制（英語担当、担任）  
3～6年…3人体制（英語担当、担任、ALT）  
7～9年…2人体制（英語担当、ALT）
- (2) 教室 英語教室（3～9年）、教室（1・2年）

## 3 指導上の留意点

- (1) 担任と英語担当で T1、T2 を行う。（1～6年）
- (2) 英語担当が授業の計画を確認する（年間計画や略案等で）。（1～9年）
- (3) 年間の単元のうち 1 単元は担任が T1 として授業を行う（4 月に決めておく）。（1～6年）
- (4) ICT を活用した授業を行う。デジタル教科書を活用し、歌やチャンツ、会話等に取り組む。

## 4 授業の流れ「旭スタイル」

① Greeting（あいさつ） 5分	（例）「Let's start English lesson.」 ALTとのやりとり（一問一答）
② Warm up （ウォームアップ）5分	フォニックス、歌、チャンツ、書く練習、小テスト、Small Talk 等、 本時に関わる内容を各学年で決める。
③ Aim（めあて） 2分	本時のねらいを示す。
④ <u>Activity（活動）</u> <u>30分</u>	本時のメインの活動。見通しを持って活動に入れるように、ALT と教師でデモンストレーションする。単元の目標や CAN-DO リ ストにそって、理解力や表現力を高める活動を行う。
⑤ Reflection （振り返り） 3分	英語の言語にまつわる気付きや、学習の到達度について、3年 以上は振り返りシートに記入させる。
⑥ Closing（あいさつ）	（例）「Thank you for your lesson.」
※パフォーマンステスト	学期に一度の目安で ALT や英語担当とのインタビューやポス ター作り、スピーチなどのパフォーマンスを評価する。

※板書に授業の流れを掲示する

## 5 評価

(1)「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)を参考にし、CAN-DO リストやパフォーマンステスト、振り返りシートをもとに評価する。

学年	形式	時期	学習評価(評価・要録含)
1・2年	記述	年度末	英語担当・(担任)
3・4年	記述	各学期末	英語担当・(担任)
5・6年	観点別評価	各学期末	英語担当
7~9年	観点別評価	各学期末	英語担当

## 6 English Time

(1)ねらい

- ・基礎基本を身に付け、確かな学力を定着させることができる(知識・技能)
- ・文化の違う他者とつながるために必要なコミュニケーション能力の大切さを理解し、自分のことを表現することができる(思考・判断・表現)
- ・国内外の多様な文化や価値観に偏見なくコミュニケーションをしたり、表現したりしようとしている(主体的に学習に取り組む態度)

(2)内容

8:15~8:25(月曜日、水曜日)

タブレット…AI スピーキングアプリや e ライブラリを利用する。会話練習や反復練習、単元テストの勉強として各自取り組む

リスニング…年度初めにテキストを購入。学級委員がCDの準備をして始める

1回に2ページ(2回分)が目安

## 7 英語発表会「Let's Enjoy English!」

(1)ねらい

- ・学習成果を効果的に発表する方法を理解し、日々の学びや身近なことについて伝えることができる(知識・技能)
- ・互いの発表を聞き、良さを認め合い、よりよい発表をすることができる(思考・判断・表現)
- ・助け合ったり、共同したりしながら、積極的に外国語を用いて自分自身のことや興味関心のあること、旭のよさなどについて発表しようとしている(主体的に学習に取り組む態度)

(2)内容・方法

・日時・場所:令和7年2月13日(木) 3・4校時 1~8年各学年教室

・学年の中で4つもしくは2つのグループに分かれる。1つ目のグループが発表している間、残りのグループは自由に他の学年の発表を見る。発表(準備・移動含む)時間を1グループ15分とし、交代して順番に発表する。9年生は他学年の発表を見て、助言をする

・英語や生活・総合で学んだことの内容を踏まえ、子どもたちが伝えたいことを考えさせる

・地域の方、大学生や外国人を招いて発表を聞いていただき、質問や助言を受ける

## 8 国際交流

### (1) 南オーストラリア州 Yohl (ヨール) 小学校との交流 (5・6年)

#### ①ねらい

児童が外国の児童生徒と外国語の授業で身に付けた英語を使って交流することを通して、伝わる喜びを感じ、自分の話す英語に自信を持つとともに、英語で話す意欲を高めることができるようにする

#### ②内容・方法

- ・2回程度(1学期、2学期各1回)
- ・ビデオ会議システム(Webexなど)を活用したオンライン交流
- ・交流内容は、オーストラリア日本語指導教員、ヨール校教員と本校英語担当で協議して決定(自己紹介、地域紹介、歌、ダンス、テーマを決めてQ&Aなど)

### (2) 国際交流キャンプ(7・8・9年)

#### ①ねらい

- ・異なる文化、習慣、言葉を持つ人たちと出会い、触れ合い、様々な体験をすることで、国際人として広く世界を捉えるきっかけをつくる
- ・自分自身や地域の紹介など、生徒が外国語の授業で身に付けた英語表現を使って自分から発信できる場とする

#### ②内容・方法

- ・2学期中に1回(4時間:外国語2時間+総合2時間)
- ・「NPO ファミリーリングあゆむ」との共催
- ・交流内容、参加者、開催場所については、「あゆむ」の協力のもと、担当で協議し決定する

## 9 英語検定等

### (1) 英検 Jr. 学校版(5・6年)

#### ①受験学年・受験グレード

受験グレードは、学年で統一する。(5年ブロンズ、6年シルバー)

#### ②申請の流れ

(7月) 小英語担当者が美咲町教育委員会に申請書をメッセージで送る。

データは、教務部>教科・道徳等>外国語>英検 Jr.

**申し込み締め切りは実施日の1ヶ月前**

(1学期中) 英検 Jr.のお知らせを保護者に学級通信等で知らせる。

・日時      ・費用700円(負担額は変更する可能性もある。町教委に確認してもらう)

(10月) 各学年で実施。(CDを流すだけ)

(受験後) 答案を返送。費用は学校負担。

(結果が届く) 個別のシートが郵送されるので、児童に返却。

(費用) 請求書が届きしだい振り込む。手数料は学校負担。

③結果の活用

各学年の英語のレベルを把握し、今後の授業に活かす。

英語検定申込の前に実施することで、英語検定に取り組もうとする意欲を高める。

(2) 英語検定

・5～9年の希望者 ※NPO ファミリーリングあゆむが実施(事前指導含む)

※受験料半額町教委より負担(年間1回)

10 その他

○ALT は、英語授業以外も児童生徒とフリートークをし、イングリッシュボード等を活用し英語に触れる機会を作る。

○図書室の英語コーナー等にある英語の絵本は授業の教材として扱う。

○英語教室の掲示やフラッシュカード等は英語担当が随時整理しながら環境整備に努める。